

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 施策一覧

分野	施策	計画掲載事業名	事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	R3(2021)			R4(2022)			達成率が80%未満または120%超の場合、差の概要	取組上の課題がある場合の内容と対応策(対応済の場合も含む)	9期中の方向性	
								目標値(A)	実績(B)	達成率B/A	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A				
I 地域共生	1 市民理解の促進	1 出前講座の展開		介護保険課・地域包括ケア企画課	講座開催数(回)		55	-	11	-	-	20	-			継続	
		2 学校教育における高齢者の理解促進		高齢福祉課・介護保険課	授業実施学校数(校)		56	-	8	-	-	4	-		学校の希望による各所属毎の役割分担の体系化。	継続	
		3 認知症サポーターの養成		高齢福祉課	認知症サポーター養成講座受講者数(人)	○	56	3,000	3,449	115%	3,000	2,097	70%	新型コロナウイルス感染症流行の影響による受講者数の減少	受講者数のみに着目せず、認知症サポーターの質の担保と活躍の場の検討が必要(ステップアップ講座を含めた講座の周知など)	継続	
		4 認知症に関する普及啓発		高齢福祉課	-		56	-	-	-	-	-	-		情報と手法の散在による非効率な情報発信と情報提供不足によるサービスの選択肢の縮小が考えられるため、適切な時期に適切な対象に情報が届くよう検討が必要。	拡充	
	2 市民参加の支え合い	1 豊田市ささえあいネットの推進	高齢者見守りほっとライン		高齢福祉課	高齢者見守りほっとライン協力機関登録件数(件)	○	57	2,400	2,366	99%	2,450	2,418	99%	・市内に多数の事業所を持つ企業等に協力を働きかけたことにより、登録件数が前年度から52件増加した。 ・経営母体の変更などにより事業が継承された事業所等に訪問し、改めて事業の趣旨を説明するなど、取組の実効性の向上を図った。	・スーパーなどのチェーン店は利用者が多く、協力が得られた場合に効果が大いだが、各店舗に決定権が無いことも多く、登録につながらない。 ・2,400を超える事業所等に登録してもらっており、事業所等の協力機関を増加していくことが難しくなっている。 ・集いの場を実施している団体などに対して地域協力機関として登録してもらえよう働きかけていく。	継続
			みまもりほっとパーキング事業		高齢福祉課	みまもりほっとパーキング事業協力機関登録件数(件)	○	58	650	696	107%	670	738	110%			継続
			徘徊高齢者・障がい者等事前登録制度		高齢福祉課	徘徊高齢者・障がい者等事前登録件数(件)		58	-	414	-	-	462	-		登録上の写真が更新されていないため、実物から変化している可能性がある。	継続
			認知症高齢者等個人賠償責任保険		高齢福祉課	-		58	-	-	-	-	-	-			継続
			見守り安心マーク		高齢福祉課	見守り安心マーク利用者数(人)		58	-	79	-	-	315	-		シールの仕様(反射、貼り付け対応)上コストがかかる。	継続
			かえるメールとよた(緊急メールとよた行方不明者情報)		高齢福祉課	かえるメールとよた登録者数(人)	○	58	9,000	10,964	122%	9,500	11,391	120%	自治区や認知症サポーター養成講座受講者への勧奨により登録数が増加した。	登録数の伸びが鈍化してきているため、コンビニエンスストアなど、高齢者がよく立ち寄る事業所に登録を勧奨するなどにより登録数を増加させていく。	継続
			徘徊者搜索機器利用促進補助金(GPS機器助成)		高齢福祉課	徘徊者搜索機器利用促進補助金交付件数(件)	○	58	25	21	84%	25	19	76%	月額使用料の負担や搜索機器を使いこなせない等の理由から申請件数が伸びていないものと考えられる。	補助対象が、「位置情報が主機能のモノ」となっているため携帯電話は対象外であるが、携帯電話を補助対象にして欲しいというニーズがある。 一方で、GPS機能を有するスマートフォンの保有率は年々高まっており、GPSを活用した搜索機能の使い方をスマホ教室等で教えるなど、補助事業の代替案を検討する時期に来ている。	見直し
		徘徊高齢者搜索模擬訓練		高齢福祉課	徘徊高齢者搜索模擬訓練実施回数(回)		58	-	5	-	-	2	-			継続	
		高齢者の住宅防火促進事業を活用した見守り		予防課	-		58	-	-	-	-	-	-			継続	
		2	お元気ですかボランティアの養成及びお元気ですか訪問		高齢福祉課	ボランティア新規登録者数(人)	○	59	15	6	40%	15	0	0%	養成講座未実施のため	民間で高齢者傾聴を行う団体が存在し、市の事業と重複している。市のボランティアには費用弁償が支払われている。	廃止(9期以降)
	3 高齢者クラブ友愛活動の促進			市民活躍支援課	高齢者クラブ友愛活動における訪問件数(件)		59	-	183	-	-	181	-			継続	
	1 見守りネットワークの強化【重点】			高齢福祉課・福祉総合相談課	高齢者見守りほっとライン協力機関登録件数	○	49	2,400	2,366	99%	2,450	2,418	99%	重点施策報告を参照		継続	
	3 見守りの推進	2 豊田市ささえあいネットの推進【再掲】															
		3 お元気ですかボランティア養成及びお元気ですか訪問【再掲】															

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 施策一覧								R3(2021)			R4(2022)			達成率が80%未満または120%超の場合、差の概要	取組上の課題がある場合の内容と対応策 (対応済の場合も含む)	9期中の方向性	
分野	施策	計画掲載事業名	事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A				
		4	ひとり暮らし高齢者等登録制度の推進		福祉総合相談課	ひとり暮らし高齢者等登録制度登録者数(人)		61	-	3,374	-	-	3,446	-		継続	
		5	福祉電話訪問		高齢福祉課	福祉電話訪問利用者数(人)		61	-	27	-	-	24	-		見直し	
		6	緊急通報システムの設置		高齢福祉課	緊急通報システム設置件数(件)		61	-	63	-	-	65	-		見直し	
	4	重層的な支援	1	重層的支援体制の推進【重点】	包括的相談支援事業	福祉総合相談課	包括的相談支援事業件数(件)		48	-	備考※	-	-	5,753	-	重点施策報告を参照 ※システム改修により、件数の把握はR4年度分から実施	継続
					アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	福祉総合相談課	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業件数(件)		48	-	備考※	-	-	1,767	-	重点施策報告を参照 ※システム改修により、件数の把握はR4年度分から実施	継続
					多機関協働事業	福祉総合相談課	多機関協働事業件数(件)		48	-	備考※	-	-	48	-	重点施策報告を参照 ※システム改修により、件数の把握はR4年度分から実施	継続
					参加支援事業	福祉総合相談課	参加支援事業支援件数(件)		48	-	備考※	-	-	16	-	重点施策報告を参照 ※システム改修により、件数の把握はR4年度分から実施	継続
					地域づくり事業	福祉総合相談課	地域づくり支援件数(件)	○	48	100	95	95%	100	92	92%	重点施策報告を参照	継続
		2	地域包括支援センター	総合相談支援業務	高齢福祉課	-		63	-	-	-	-	-	-	-	高齢者の増加に伴い、支援時間の増加が見込まれるため、地域包括支援センターの事務面の負担軽減が必要	継続
				権利擁護業務	高齢福祉課	権利擁護相談件数(件)		63	-	416	-	-	496	-	-	高齢者の増加に伴い、支援時間の増加が見込まれるため、地域包括支援センターの事務面の負担軽減が必要	継続
				包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	高齢福祉課	地域ケア個別会議開催回数(回)		63	-	58	-	-	76	-	-	高齢者の増加に伴い、支援時間の増加が見込まれるため、地域包括支援センターの事務面の負担軽減が必要	継続
				第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント)	高齢福祉課	介護予防ケアマネジメント延べ人数(人)		63	-	16,740	-	-	16,936	-	-		見直し
				指定介護予防支援事業(要支援者の予防給付のケアマネジメント)	高齢福祉課	予防給付延べ人数(人)		63	-	28,089	-	-	29,728	-	-		見直し
				3	基幹型地域包括支援センターの機能強化	高齢福祉課	地域包括研修回数(回)		65	-	29	-	-	38	-	-	
		4	AIを活用した相談・支援		福祉総合相談課、情報戦略課	-		65	-	-	-	-	-	-	-		廃止(8期中)
		5	生活困窮者自立支援	総合相談支援業務	福祉総合相談課	自立相談支援機関への相談件数(件)	○	66	5,250	7,205	137%	5,250	8,248	157%	新型コロナウイルス感染症及び物価高騰の影響により、生活困窮相談が増加していると思われる。	継続	
		6	成年後見制度利用支援		福祉総合相談課	申立件数(件)		66	-	10	-	-	25	-		継続	
		7	成年後見支援センター		福祉総合相談課	相談・対応件数(件)		66	-	271	-	-	259	-		継続	
		8	共生型サービスの推進		地域包括ケア企画課・障がい福祉課・介護保険課	共生型サービス実施事業所数(か所)	○	67	9	8	85%	10	12	120%		継続	
		5	関係機関との連携	1	在宅医療と福祉の連携強化【重点】		地域包括ケア企画課	多職種連携ICT「豊田みよしケアネット」加入率(%)	○	51	35	41.3	118%	40	44.4	111%	重点施策報告を参照
2	地域ケア会議等			地域ケア個別会議	高齢福祉課	実施回数(回)		69	-	58	-	-	76	-		継続	
				多職種で自立支援を考える会	高齢福祉課	実施回数(回)		69	-	24	-	-	19	-		継続	
		地域ケア推進会議	高齢福祉課	実施回数(回)		69	-	2	-	-	2	-		継続			





第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 施策一覧								R3(2021)			R4(2022)			達成率が80%未満または120%超の場合、差の概要	取組上の課題がある場合の内容と対応策(対応済の場合も含む)	9期中の方向性		
分野	施策	計画掲載事業名	事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A					
	生きがいづくり・就労支援	3	シルバー人材センター	市民活躍支援課	会員数(人)		75	-	2,131	-	-	2,081	-			継続		
				市民活躍支援課	受件数(件)		75	-	6,596	-	-	6,328	-			継続		
				市民活躍支援課	就業延人数(人)		75	-	155,159	-	-	147,525	-			継続		
		4	とよたシニアアカデミー	とよた市民活動センター	「通年コース」「専門コース」「はじめの一步講座」受講者数(人)	○	75	328	229	70%	328	321	98%				継続	
		5	子ども食堂を活用した多世代が交流・活躍できる居場所の展開	福祉総合相談課	参加者数(人)		76	-	2,833	-	-	2,956	-				継続	
		6	豊田市版中高年齢者活躍支援モデル事業の展開	産業労働課	セカンドライフ&キャリア支援事業(エスプレッソ)への参加者数(人)	○	76	50	174	348%	50	349	698%	開催回数を増やしたことで、事業開始から3年目を迎え事業周知が図られたことにより、参加者数が当初の見込と比べ増加した。	県モデル事業の終了(令和4年度)に合わせ、事業内容を見直し、令和5年度は、中高年齢者向け就労支援セミナーを実施	廃止(8期中)		
		7	敬老金の贈呈	高齢福祉課	贈呈件数(件)		76	-	4,977	-	-	5,120	-				見直し	
Ⅲ	1	普及啓発・本人発信支援	1	認知症サポーターの養成【再掲】														
			2	認知症に関する普及啓発【再掲】														
			3	認知症の早期発見【重点】	高齢福祉課	チェックリストの配布数(部)	○	54	16,000	19,656	123%	16,000	17,849	112%	重点施策報告を参照		継続	
			4	認知症本人発信支援	高齢福祉課	認知症本人による発信機会の提供数(回)		78	-	4	-	-	2	-			継続	
	2	認知症予防	1	認知症の早期発見【重点・再掲】														
			2	集いの場へのコーディネート強化【重点・再掲】														
			3	リハビリ専門職との連携【重点・再掲】														
	3	認知症本人・介護者への支援	1	認知症地域支援推進員の活躍支援	高齢福祉課	研修受講者数(人)		80	-	27	-	-	14	-			継続	
			2	認知症初期集中支援推進事業の展開	高齢福祉課	医療・介護サービスにつながった人の割合(%)	○	81	65	84	130%	65	73	112%			継続	
			3	認知症カフェの推進	高齢福祉課	設置件数(件)		81	-	20	-	-	20	-	新型コロナウイルス感染症流行後のカフェの運営方法の検討や未登録のカフェを把握する必要がある。		見直し	
			4	認知症介護家族会の開催	高齢福祉課	開催件数(件)		81	-	11	-	-	12	-	運営方法や開催場所・日時の検討		見直し	
	4	バリアフリーの促進と社会参加	1	豊田市ささえあいネットの推進【再掲】														
			2	見守りネットワークの強化【重点・再掲】														
			3	認知症サポーターを中心とした支援チームづくり【重点】	高齢福祉課	ステップアップ研修受講者数(人)	○	53	400	142	36%	400	190	48%	重点施策報告を参照		継続	
			4	成年後見制度利用支援【再掲】														
			5	若年性認知症本人・家族会の開催支援【重点】	高齢福祉課	開催回数(回)	○	53	12	7	58%	12	11	92%	重点施策報告を参照		継続	
			6	認知症の人の社会参加の仕組みづくり【重点】	高齢福祉課	社会参加のマッチングを支援した地域包括支援セ	○	53	5	7	140%	10	19	190%	重点施策報告を参照		継続	
			7	集いの場へのコーディネート強化【重点・再掲】														
				1	介護サービス事業所マネジメント層へのキャリアアップ支援【重点】	介護保険課	キャリアアップ支援研修の参加者数(回)	○	49	30	32	107%	30	33	110%	重点施策報告を参照		拡充

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 施策一覧								R3(2021)			R4(2022)			達成率が80%未満または120%超の場合、差の概要	取組上の課題がある場合の内容と対応策 (対応済の場合も含む)	9期中の方向性			
分野	施策	計画掲載事業名	事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A						
IV	介護人材	1	介護に関わる人材支援	2	介護職場環境向上支援	介護保険課	支援する事業所数(か所)	○	85	5	0	0%	5	0	0%	国補助制度の改正のため補助事業実施を中止。ホームページの活用により事業所への職場環境向上に役立つ各種情報提供を実施。	人材の定着には労働条件の改善が効果的というアンケート結果もあり、支援が必要であるため、研修を実施予定	拡充	
				3	外国人材の活用	都市間連携等による着実な外国人介護人材の受入れ促進	介護保険課	外国人介護人材の受入れ人数(人)		85	-	0	-	-	10	-		バンドン市との協定以外の外国人材が市内に増えてきた。バンドン人材に限らず外国人材の定着を支援するため、支援の対象を広げる必要がある。	拡充
						外国人介護人材に対する学習支援	介護保険課	日本語講座等の受講者数(人)	○	85	24	23	96%	29	21	72%	新型コロナの影響により、R3年度中に入国する人材が0人であったため、R4年度から新規で講座に参加する人材が少なく受講者数が増えなかった。	介護福祉士国家試験に合格するためには、一定の日本語能力が必要であることが分かってきた。日本語能力に応じた支援にする。	拡充
				4	豊田訪問看護師育成センター【一部再掲】	地域包括ケア企画課	訪問看護師育成数(人)	○	86	20	11	55%	20	16	80%		所属事業所等からの離職により、育成センターを途中退講する受講生が居る。センター職員による受講生及び事業所管理者への悩み相談の受付体制強化を図る。	継続	
				5	豊田市・藤田医科大学連携地域医療学寄付講座の展開【一部再掲】	地域包括ケア企画課	-		86	-	-	-	-	-	-				継続
				6	介護支援専門員・介護職員の専門スキルの向上	高齢福祉課	介護支援専門員研修への参加人数(人)	○	86	200	288	144%	200	272	136%	昨年に引き続き、介護支援専門員が必要とする市の施策等の研修を複数回開催することで、参加者が増加		継続	
						介護保険課	現任介護職員研修への参加人数(人)	○	86	120	157	131%	120	83	69%	新型コロナの影響により、当初の予定より回数を減らしての開催としたため、受講者数が伸びなかった。		継続	
				7	国内人材の創出	介護保険課	介護に関わる人材のすそ野の拡大に資する講座等の参加者数(人)	○	87	100	336	325%	100	256	256%	例年、1回就職相談会を開催しているが、R4年度は学生をPR対象として1回追加で実施したことで参加者数が増加した。	学生は学校での就職ルートがあることから、就職相談会への参加は少なかった。この事業では、一般の求職者や転職者を対象に実施することとする。	継続	
				8	とよた市民福祉大学	社会福祉協議会	修了者数(人)	○	87	60	53	88%	60	48	80%			継続	
				9	学校教育における高齢者の理解促進【再掲】														
10	出前講座の展開【再掲】																		
V	災害・感染症	1	災害への備え	1	避難行動要支援者名簿を活用した支援体制モデルの展開	福祉総合相談課	支援モデル実施数(件)		88	-	4	-	-	4	-			見直し	
				2	避難行動要支援者に対する防災意識向上策の推進	福祉総合相談課	避難行動要支援者名簿同意率(%)		89	-	79	-	-	80	-			継続	
				3	福祉事業所の災害体制強化策の推進	福祉総合相談課	-		89	-	-	-	-	1	-			継続	
				4	ケアプランを活用した災害時個別計画の策定促進	福祉総合相談課	研修会等の開催数(回)		89	-	0	-	-	0	-		作成者側への負担増となるが、財源支援がないため取組が浸透しにくい	継続	
		2	感染症への備え	1	介護サービス事業所への感染症対策啓発・指導	介護保険課	-		90	-	-	-	-	-			継続		
1	生活支援	1	「食」の自立支援事業の展開	高齢福祉課	延食数(回)		91	-	389,106	-	-	403,249	-			見直し			
				高齢福祉課	実利用者数(人)		91	-	1,580	-	-	1,599	-						
		2	生活管理指導短期宿泊・緊急短期入所	福祉総合相談課	利用日数(日)		92	-	1,152	-	-	970	-	緊急で受け入れる必要のあるケースが多かったため	利用期間が長期に及ぶケースがあるため、次の行き先の調整を適正に行う	継続			
				清掃業務課	実利用者数(人)		92	-	273	-	-	298	-		利用者の増加に対し、事務の効率化及び収集体制の確保が必要	継続			
		3	日常生活衛生管理支援	ふれあい収集	実利用者数(人)		92	-	48	-	-	44	-		助成対象条件の見直し	見直し			
				介護保険課	実利用者数(人)		92	-	118	-	-	152	-			継続			
		4	訪問理美容サービス	高齢福祉課	実利用者数(人)		92	-	118	-	-	152	-			継続			
4	すこやか住宅リフォーム助成	介護保険課	申請件数(件)		92	-	379	-	-	404	-			継続					

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 施策一覧								R3(2021)			R4(2022)			達成率が80%未満または120%超の場合、差の概要	取組上の課題がある場合の内容と対応策 (対応済の場合も含む)	9期中の方向性	
分野	施策	計画掲載事業名	事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A				
VI 日常生活	2 家族介護支援	5	買い物環境改善事業の展開 ⇒【R4～】山村地域貢献事業 応援補助金の展開	商業観光課	事業採択数(件)	○	93	1	0	0%	1	2	200%	2件の補助実績があったため	元々R3年度までの3年間限定であった「買い物環境改善事業」は廃止した。しかし買い物弱者対策は引き続き必要であるため、限定的であった参入事業者の幅を広げて、R4年度から新たな事業を開始した。	継続	
		1	家族介護交流会の開催	高齢福祉課	開催数(回)		94	-	81	-	-	109	-			見直し	
		2	認知症介護家族会の開催【再掲】														
		3	若年性認知症本人・家族会の開催支援【重点・再掲】														
		4	仕事と介護の両立支援に関する啓発	とよた男女共同参画センター 産業労働課	配布事業所数(事業所) 働き方改革アドバイザー・講師派遣件数(件) ※介護と仕事の両立に係る派遣に限らない	95	-	3,731	-	-	-	3,556	-		ガイドブックの記載に変更がない場合、同一のものを毎年送付することが課題である。当センターで開催する、仕事と介護の両立講座等を指標とすることを今後検討したい。	継続	
	5	ショートステイの利用支援	介護保険課	-	95	-	201	-	-	-	194	-			継続		
	3 住まいの支援	1	セーフティネット住宅の登録と居住支援	定住促進課	登録件数(件)		96	-	3,102	-	-	3,294	-			継続	
		2	サービス付き高齢者向け住宅の登録	定住促進課・介護保険課	登録件数(件)		97	-	415	-	-	415	-			継続	
		3	有料老人ホームの設置運営への指導	介護保険課・総務監査課	設置件数(件)		97	-	1	-	-	0	-			継続	
		4	シルバーハウジング(高齢者世話付住宅)	高齢福祉課・定住促進課	戸数(戸)		98	-	132	-	-	136	-		自立の人が対象の事業となっているが、要支援・要介護の人よりも手厚い事業となっている。少数の受益者に多額の手厚い支援がある事業となっている。	見直し	
		5	軽費老人ホーム(ケアハウス)	高齢福祉課	入所者数(人)		98	-	100	-	-	100	-			継続	
		6	生活支援ハウス	総務監査課	入居数(人)		99	-	8	-	-	6	-			継続	
		7	養護老人ホーム	高齢福祉課・福祉総合相談課	入所者数(人)		99	-	50	-	-	48	-			継続	
	1	基幹バス・地域バス・地域タクシー	基幹バス(とよたおいでんバス、名鉄バス)	交通政策課	基幹バス・地域バス利用者数(人/日)	○	101	15,648	12,407	79%	15,986	13,519	85%			継続	
			地域バス・地域タクシー	交通政策課・各支所・地域支援課												継続	
		2	ひとり暮らし高齢者等移動費助成	高齢福祉課	交付者数		101	-	3,112	-	-	3,910	-			見直し	
	3	住民主体によるボランティア輸送への支援【重点】	介護保険課・福祉総合相談課・高齢福祉課	ボランティア輸送検討地域数(か所)	○	46	3	5	125%	3	3	100%	重点施策報告を参照		継続		



第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 施策一覧									R3(2021)			R4(2022)			達成率が80%未満または120%超の場合、差の概要	取組上の課題がある場合の内容と対応策 (対応済の場合も含む)	9期中の方向性
分野	施策		計画掲載事業名	事業内訳	担当課	指標	目標設定	計画書ページ	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A	目標値(A)	実績(B)	達成率B/A			
	4	移動支援	4	たすけあいプロジェクトの推進	交通政策課・未来都市推進課	たすけあいプロジェクト 会員数(人)		102	-	足助旭地区41人 稲武地区42人	-	-	足助旭地区37人 稲武地区42人	-		・たすけあいPJ自体のあり方を見直す予定(R5~R7) ・新たな事業の方向性が明確になるまでは事業自体はひとまず継続するが、今後会員数では評価しない見込み	見直し
			5	自動車学校のスクールバスを利用した高齢者等交通対策	高齢福祉課	延利用者数(人)		102	-	434	-	-	廃止	-			廃止(8期中)
			6	シルバーカー購入費助成	高齢福祉課	助成者数(人)		102	-	248	-	-	228	-		要支援・要介護認定のある人は福祉用具レンタルにより安価にサービスを受けることができるため、補助があっても購入の方が高額になってしまう場合が多い。	見直し
			7	高齢者の交通安全支援	豊田市交通安全学習センター高齢者講習 交通安全防犯課	豊田市交通安全学習センター高齢者講習延参加者数(人)	○	103	4,000	1,071	27%	4,000	1,508	38%	新型コロナウイルス感染症の影響により、講習の申込が減った。	申込促進のPRや講習の手法の検討を行っていく。	継続
		高齢者交通安全防犯世帯訪問事業 交通安全防犯課	高齢者交通安全防犯世帯訪問事業	○	103	9,000	9,250	103%	9,000	9,192	102%		継続				